

令和6年度 校区男女共同参画協議会等の活動事例

(令和6年度「校区における男女共同参画をテーマとした取組みの実施状況調査」より)

◇ 取組みが多かったテーマ “ベスト3”

1 男女共同参画をテーマ※とした研修会・講演会等

※テーマや講師については、以下の「研修会・講演会」＜抜粋＞を参照。

2 男女共同参画の視点で考える防犯・防災

3 男性にとっての男女共同参画（男性の家事・育児参画など）

具体的な活動事例

* () 内は参加人数

事例 No	テーマ・タイトル	内 容
1	熊本県阿蘇地震 ミュージアム見学	災害時における男女共同参画の視点を共有できるよう、自治協議会や各種団体の長に呼びかけ、フィールドミュージアム、シアター上映、災害遺構等を見学した。(31人)
2	楽しく防災 防災 食ワークショップ	家庭内の食材を使った、防災食作りを家族全員で考えた。(44人)
3	女性の視点から避 難所を考える	安心できる空間作り、備蓄食品試食会を行った。(31人、うち男性11人)
4	地域の安全点検	委員が3グループに分かれ、男女共同参画の視点で校区内の安全点検を行った。(9人)
5	ジャズコンサートで 男女協を紹介	男女協の活動や取組みを校区住民に知ってもらうために、毎年参画ウィーク時に開催、コンサートを始める前に男女共同参画をテーマとした話をしている。令和6年度は「アンコンシャス・バイアス」。(63人)
6	地域のふれあいサ ロンとの交流	男女共同参画みんなでかるたを使ってふれあいサロンとの交流を行う。部会の中だけで学ぶのではなく、地域の色々な交流の場に出向いて理解を広げる試みを行った。(42人)
7	クイズ de 学ぼう！ 男女共同参画	地域住民を対象としたイベント。ジェンダーギャップ指数や共働き世帯や日本の女性活躍のことなど、委員で考えた男女共同参画に関する問題をクイズにして出題した。(46人)
8	父と子の料理教室 (皮から作る餃子)	父親の家事育児参加を推進し、家庭での役割分担の意識を促し、料理を通して親子のコミュニケーションをはかる。(19人)
9	メンズキッチン	長寿社会になり男性の一人暮らしが増えてきた。“男子厨房に入らず”を実践している人が多いため、手作り料理教室を毎年1回行っている。(12人、うち男性8人)
10	みんなで料理教室	校区の居酒屋経営者を講師に迎え、料理初心者の男性向けカンタン料理教室を実施した。(25人、うち男性16人)

◇ **研修会/講演会**（抜粋） ＊講師の肩書は実施当時のもの。

- ・「笑って男女共同参画」 アマチュア落語家 粗惣家勘心氏
- ・「講談で語る男女共同参画～ふんわりまあるく生きましょう」 講談師 金印亭恵紅氏
- ・「博多にわかで男女共同参画を学ぼう!!」 博多にわか一門
- ・「誰もが自分らしく健やかに生きる－ジェンダー教育から考える」 前小学校校長
- ・「無意識の偏見～アンコンシャス・バイアス」 九州大学法学研究院 教授 赤坂幸一氏
- ・「性別にこだわらないものの見方とは？～無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を乗り越えるために」 西南女学院大学人文学部 教授 倉富史枝氏
- ・「だれもが自分らしく生きるために」 北九州市立大学准教授 アン・クレシーニ氏
- ・「物語の中の女性たち（ヒロインは進化する）」 福岡工業大学教授 原田寛子氏
- ・「いま伝えておきたい命と性のお話」 助産師
- ・「Stop！性虐待 ずっと助けてと叫んでいた」 福岡市子ども家庭支援センターはぐはぐセンター長
- ・「LGBTQ の基礎知識と性同一性障害」 一般社団法人 gi.jp 九州支部支部長 黒部美咲氏

※福岡市の出前講座、サポーター講座、防災研修等は除いています。

※掲載している事例のほか、校区では、広報紙の発行、校区イベントでの「参画ウィークののぼり旗」の設置、チラシ・啓発グッズの配布など、男女共同参画推進のための様々な取り組みが行われています。

参 考

＜男女共同参画に関する講座等の利用について＞

■出前講座 市民局男女共同参画課（Tel 406-7510、fax 526-3766）

■アミカス地域支援事業 市民局事業推進課（Tel 526-3755、fax 526-3766）

☆アミカス2階の図書室で、研修用 DVD の貸出を行っています。

※研修用 DVD は、各区役所の担当課経由で取り寄せることもできます。

☆アミカスHPから研修用DVD、ビデオのリスト（PDF）が閲覧できます：

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jigyosuishin/life/amikas/kenshu.html>

→ 地域活動の応援＞研修素材(DVD等)